

# ながさき

No.149

2015.9.1

# 市議会だより

## 明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業 世界文化遺産登録決定



端島炭坑(軍艦島)



高島炭坑(北溪井坑跡)



旧グラバー住宅



占勝閣



旧木型場



ジャイアント・カンチレバークレーン



小菅修船場跡



第三船渠

### 主な掲載内容

	P
○一般質問 .....	2
○委員会審査の主な内容 .....	6
○議決結果 .....	7
○議員提出議案・請願・陳情・人事など .....	8



本会議の様様を長崎ケーブルメディア・インターネットで生中継しています。

また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。You Tube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索

# 一般質問

6月定例会では、6月24日から26日までと、6月29日の4日間にわたり、会派代表質問7人及び個人質問(8人)が行われました。

会派代表質問については会派ごとに2項目、個人質問については議員ごとに1項目、合計22項目を掲載しています。

## (会派代表質問)

### 明政クラブ

#### 財政運営

**問** 今後10年間を見据えた財政運営について、高齢化などに伴う社会保障関連費の伸びを考慮した財政計画、国の財政再建の動きによる普通交付税等への影響、投資的経費の財源捻出の3点について伺いたい。

**答** 社会保障関連経費の多くは国の制度であるため、地方負担分については地方交付税に一定反映されるものと見込んでいます。普通交付税については、国の財政状況が厳しい中、地方への影響も考えられるが、今後も、総額確保について国に要望していく。投資的経

費については、収支改善を続けると同時に、「地方創生」の流れを活用し、国庫補助金の確保などを行い、必要な財源を確保したい。

#### 観光振興策

**問** 軍艦島保存の方針と、夜景の維持や進化のための取り組みについて伺いたい。

**答** 軍艦島の保存については、「島を守る『護岸』と坑口などの『生産施設』だけを保存する」から「失われた建物まで復元する」まで、5つのパターン分けを行っている。平成28年3月までに整備活用計画を取りまとめ、緊急性や費用等も加味し、具体的な施工計画を立てたい。また、夜景の維持や進化については、斜面市街地の灯りの整備



▲軍艦島の全景

が重要な課題であるため、関連機関や専門家との連携のもとプランの策定に取り組みとともに、視点場の環境整備などを進めていく。

### 市民クラブ

#### 被爆70周年の取り組み

**問** 被爆70周年の節目に、被爆体験者事業の改善を含め、被爆地域拡大の課

題にどのように取り組んでいくのか。

**答** これまでも、国への要望を重ねてきたが、「科学的・合理的根拠を示さなければならぬこと」が常に高いハードルとなってきた。未だ、それは見い出せていないが、高齢化し、苦しんでいる被爆体験者の援護の充実が喫緊の課題となる中、今年度は「救済」の観点から国に対し新たな要望を行う必要があると判断した。節目の年にあたり、踏み込んだ方策が講じられるよう努力したい。



▲7月に行った要望活動の様子

#### 沿岸漁業振興策

**問** 漁獲量が年々減り続け、価格も低迷し、漁業者は減っていくという負のスパイラルから抜け出せない現状についてどう考えるか。また、漁場環境改善の面から、海底耕うんを継続的に行うことが必要ではないか。

**答** 漁業の安定のためには、水産資源を管理し、回復することが重要な課題であり、藻場や漁場の造成などの各施策に取り組んでいる。また、海底耕うんは、継続的に行うことで効果の向上が期待できるとの調査結果もあるが、現時点では効果を見きわめることは難しい。今後、実施した海域の漁獲量などの推移を注視し、効果的な実施の在

### 公明党

#### 被爆70周年における市民大行進

**問** 原爆犠牲者の冥福を祈り、世界に強く平和を訴えるため、被爆70周年の市民大行進をどのように計画しているのか。

**答** 参加した子どもたちの平和メッセージを込めた風船を一齐に空に放つバルーン・リリースの実施や、ポスター・標語の優秀作品の横断幕・ゼッケンへの活用を予定している。また、NPT再検討会議にユース代表団として参加した大学生や市内在学の留学生等へ参加を呼びかけたい。そのほか、関連イベントとして、世界こども平和会議の中で、世界162の国と地域の子どもたちが平和メッセージを掲げながら行進することを予定している。

#### 市の鳥の制定

**問** 長崎ペンギン水族館のペンギンの飼育種類数が9種類となり、世界一となったことを記念して、ペンギンを市の鳥として制定してはどうか。

**答** 平成27年は、6町と合併して10年、被爆から70年を迎えるため、区切りの機会に合わせて市の鳥を制定することについて検討したいと平成25年9月の一般質問で答弁を行った。また、今年

り方を研究しながら取り組んでいく。

は、明治日本の産業革命遺産の世界遺産登録への期待が高まっている年であり、制定するよい機会であると考えている。市民の皆様が親しまれ、愛着を感じてもらうことが重要であるため、アンケート調査を実施するなど準備を進めたい。



▲新しい仲間!!  
ヒゲペンギン!

## 創生自民

### 市長の政治姿勢

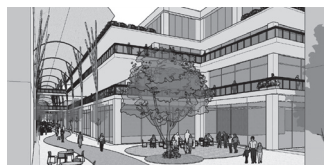
**問** 高齢化や人口減少が避けられず、さらに財政も厳しさを増す状況において、市長の3期目の抱負を伺いたい。

**答** 私の使命は長崎の次の時代の基盤をつくることとの考えのもと、3期目は、これまで取り組んできた、13の重点プロジェクト全てを軌道に乗せたいと考えている。また、これまで進めてきた本市の強みを活かしたまちづくりをこれからも進め、世界を身近に感じることができると世界都市、長崎に合った暮らしやすさを自分たちでつくる人間都市としての基盤をしっかりとつくりつついく4年間にしたい。

### 浜町再開発事業

**問** 事業の進捗状況と、今後の支援や取り組みについて伺いたい。

**答** 現在、浜町地区では「長崎浜市まちづくり構想」に基づく取り組みをさらに具体的に進めるため、「浜町地区市街地再開発準備組合」が設立され、再整備に向け積極的な検討が進められている。今年度は国と市の支援により、再開発事業に関する推進計画の策定に取り進むこととされている。本市としては、事業の進展に合わせ、必要となる計画策定への助言や事業費の助成など、継続的な支援を行うとともに、関係部局と連携し、サポートしたいと考えている。



▲長崎浜市まちづくり構想  
(※このイメージ図は、構想の段階で作成されたものであり、地権者などの同意を得たものではありません。)

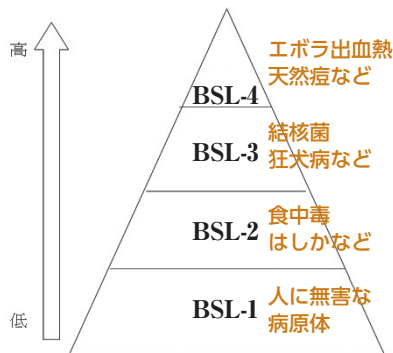
## 日本共産党

### BSL-4施設の考え方

**問** 坂本キャンパスへのBSL-4施設建設は、近隣自治会の住民の多くが反対しているため断念すべきであり、

大学、県と結んだ協定も破棄すべきと考えるが、市長の考えを伺いたい。

**答** この施設は、国内の安全・安心に資するだけでなく、世界に貢献する可能性があり、市のまちづくりの方向性にも合致するものと考えている。しかし、危険性の高い病原体を扱うため、その設置は「安全性の確保」と「市民の理解」が前提である。今回締結した「感染症研究拠点整備に関する基本協定」は、大学、県と連携し、課題の明確化と解決にあたっていくこと等を定めたものである。施設に対し、さまざまな意見があることは十分承知しており、今後、市民の安全・安心を守る立場から、課題解決へしっかりと意見も申し上げていきたい。



▲BSL (バイオセーフティレベル) 分類  
BSL-4 施設とは、最も危険度の高い病原体を扱うことができる施設です。

### ながさき住みよ家 リフォーム補助制度の継続

**問** この制度は、施主や事業主に喜ばれ、市税収入にも貢献していることが

ら、来年度以降の継続と交付決定までの期間短縮を図っていただきたい。

**答** 平成23年2月から、緊急経済対策として開始し、過去3年で60億円以上のリフォーム工事発注に繋がるなど、一定の成果が得られたと考えている。事業継続については、今後の経済状況等を見極めながら判断したい。また、交付決定までの期間については、審査などに要する時間の短縮に努めたい。

## チーム2020

### 旧公会堂の活用策

**問** ブリックホールの稼働率が上昇し、今以上の受入が厳しいのであれば、暫定的に旧公会堂の活用ができないのか。また、本市の戦後の取り組みを伝える施設として活用する考えはないか。

**答** 建物や設備が老朽化しており、特に設備については多額の費用を投じて大規模な機器の更新を行わなければ、暫定的な活用は困難な状況である。そのため、旧公会堂は解体し、芸術文化の表現の場として、高いレベルの音楽や演劇の公演に対応できる機能を備えた、誰にとっても使いやすい、文化施設を新たに整備する方針である。建設当時の国際平和都市としての発展を願う精神は、時代に合った新しい施設に形を変えながらも未来に引き継いでいきたい。

## スポーツイベントの誘致状況と 会場の充足度

**問** スポーツイベントや合宿の誘致・集客に向けた取り組みと会場の充足度について伺いたい。また、市民からの茂里町スタジアム建設の要望地である中部下水処理場はいつ廃止するのか。

**答** 誘致に向けては、大会や合宿等での施設の利用について、一般の利用者より優先して申し込めるよう基準の見直しを行った。また、会場については長崎国体の開催をきっかけに施設が整備されたため、全国大会から一般利用まで、十分に対応可能と考えている。平日昼間の時間帯は「空き」があるため、今後は合宿の誘致について庁内で協議を行っていききたい。なお、中部下水処理場の廃止については平成35年度を目標としている。



▲国体開催に合わせ、人工芝に整備された市営ラグビー・サッカー場

## 自由民主党

### 地方創生

**問** 人口減少社会の中で、活力あるまちづくりを早期に目指すため、地方創生について今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

**答** 昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立したことを受け、本市では人口減少対策推進本部を中心に5つの対策部会を設置し、今年度中での地方版の総合戦略策定に取り組んでいる。策定にあたっては「産・学・官・金・労・言」といった各分野からの意見を聞くなど、そのプロセスを大切にしている。国の財政支援を受け、地方創生を成功させるためにも、オール長崎市というスタンスのもと、その潜在力を最大限に発揮できる戦略を策定したい。

### 九州横断自動車道と 日見バイパスの完全4車線化

**問** 九州横断自動車道と日見バイパスの完全4車線化へ向け国に対して積極的な働きかけを行うべきと考えるが、市としての考え方を伺いたい。

**答** 九州横断自動車道の4車線化については、交流人口の拡大を図るうえで必要不可欠と考えており、未着工と



▲現在、2車線の新日見トンネル付近。4車線化早期実現に向けて要望活動を行っている。

なっている区間の早期事業化に向け、県と連携し、より一層の働きかけを行っていく。また、日見バイパスについては、これまでの要望活動の結果、国においても、その必要性について、一定理解が深まっていることから、今年度は重要な年になると考えている。市や市議会等で構成する「一般国道34号道路整備促進協議会」を中心に、県とも連携を強化し、より積極的に働きかけを行いたい。

## （個人質問）

### 明政クラブ

乳幼児医療費助成制度の拡大を  
見据えた小児科の医療体制

**問** 制度の対象が拡大された場合、受診者の増加が予想されるが、今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 本市における夜間、休日を含めた小児科の医療体制については、医師会

や大病院、各病院の勤務医の協力により、一定整備されているものの、小児科の医師及び医療機関の数が限られており、流行期の混雑解消は厳しい状況である。今後、引き続き協力が得られるよう努めるほか、長崎県の小児救急電話相談等の活用や、平日頃からかかりつけ医をもち、相談するように周知・啓発を行いたい。



▲厚生労働省ホームページより

や大病院、各病院の勤務医の協力により、一定整備されているものの、小児科の医師及び医療機関の数が限られており、流行期の混雑解消は厳しい状況である。今後、引き続き協力が得られるよう努めるほか、長崎県の小児救急電話相談等の活用や、平日頃からかかりつけ医をもち、相談するように周知・啓発を行いたい。

MICE施設建設や公会堂存置などについての住民投票の実施

**問** 市長選挙が無投票となったことを受け、現在の財政状況におけるMICE施設建設や公会堂存置などについて民意を得るためにも住民投票を行うべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

**答** 個別施設の是非を問うなどの住民投票については、条例に基づくものであり、投票結果に法的拘束力を持つものではない。そのため、二元代表制の中で、市民の代表である議会として議論を重ね、決定していただいたいと考えていることから、現時点では実施する考えはない。

# 市民クラブ

## 投票率低下への対策

**問** 今回の統一地方選挙における投票率低下を受け、今後どのような対策をとるのか、また、大学構内への期日前投票所の設置について見解を伺いたい。

**答** 公職選挙法の改正案が成立したことから、選挙権年齢が18歳以上へ改正され、若者世代への啓発がますます重要な課題となる。選挙を身近に感じてもらうために、小中高校に対し投票箱などの貸出を行っているが、その際に、選挙のしくみを説明するなど出前授業を併せて行うことを呼び掛けていく予定である。また、大学構内への期日前投票所の開設に向けては、大学側と具体的な協議を行っていききたい。

## 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

**問** 企業に働く人、特に若い人がまちづくりに参加するために有効な手立てと考えるが、その支援について、市の基本姿勢を伺いたい。

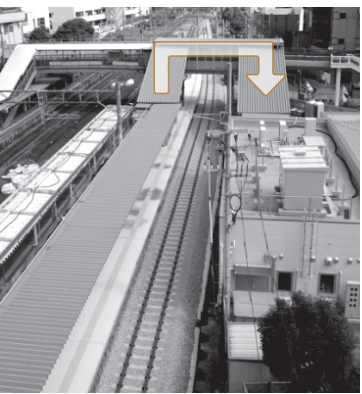
**答** 充実感を持ちながら働くとともに、仕事以外でも多様な生き方が選択できるとされるワーク・ライフ・バランスについては、国や県の施策とも連動しながら、民間企業に対し、地域活動に

対する理解を促すなど、さまざまな取り組みを強化していきたい。また、若い世代の地域活動への参加は重要であるため、まちづくり活動へ参加しやすい地域の土壌づくりを進めていく。

## JR浦上駅を利用する障がい者への配慮

**問** JR浦上駅の下り線のホームへはこれまで平面で移動できたが、連続立体交差事業の工事により階段を利用しなければならなくなった。体が不自由な人のためにどう対処されるのか伺いたい。

**答** 工事期間中における障がい者や高齢者の皆様への対応は、事業主体の県やJR九州が、階段へ手すりを設置したり、車椅子の場合を除き、階段の昇り降りの際に介助を行ったりと、できる限りの対応を行っているが、エレベーターの設置は、物理的・費用的に困難であると伺っている。浦上駅は、工事完了後はバリアフリー対応駅となるが、完成するまでの間、より一層の対応の充実について県やJR九州と協議していきたい。



▲現在の浦上駅の下り線ホームから改札までの順路

# 公明党

## 城山小学校被爆校舎を初めとする被爆4遺構の保存と活用

**問** 「城山小学校被爆校舎」、「浦上天主堂旧鐘楼」、「旧長崎医科大学門柱」、「山王神社二の鳥居」の被爆4遺構の指定文化財化に向けた取り組み及び今年の11月に開催されるパグウォッシュ会議での活用について伺いたい。

**答** 被爆4遺構は、原子爆弾の凄まじさを伝える貴重な遺構であり、末永く後世に継承するため、指定文化財化への取り組みを進めており、市長も文化庁長官へ協力要請を行った。また、パグウォッシュ会議では、遺構見学のための「モデルコース案内」を作成しているほか、ガイド等も含め、関係機関と連携して準備を進めている。



▲城山小学校被爆校舎  
▲城山小学校被爆校舎の案内板

## 主権者教育の推進

**問** 義務教育現場での主権者教育の推進への取り組みを伺いたい。また、子どもたちが議員となり、市長と議論を交わす「模擬議会」を開催する考えはないか。

**答** 学校の授業では、政治の働きや仕組みを学んでいるほか、中学校の生徒

会活動では、自分たちの生活のきまりなどを全校生徒で審議する自治活動を行っている。今年度は、実際の選挙機材を用いて「模擬選挙」を実施する予定としている。このような、当事者意識を高める取り組みについては、模擬議会も含め、他都市の状況を踏まえて研究していきたい。

# 創生自民

## あぐりの丘

**問** あぐりの丘の来園者数をふやすため、民営化やそこにしかない目玉等を作る考えがないのか伺いたい。

**答** あぐりの丘は、平成10年7月に民間企業により開園し、民間企業が撤退した平成18年4月から、市が運営・維持管理を行っている。完全民営化は困難と考えるが、民間のノウハウを活用できる指定管理者制度の導入について検討を進めたい。



▲噴水のある池。子どもたちに大人気

また、あぐりの丘に行きたいと思わせるような工夫やアイデアについても、この里の自然、農業、市民交流というキーワードを踏まえて検討したい。

## 総務委員会

平成27年度長崎市一般会計補正予算第2号(総務委員会所管部分)を修正可決

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産の世界遺産登録を見据え、観光客の増加に対応した受入態勢の充実を図るための世界遺産観光客受入費が計上されていることから、世界遺産への登録を踏まえた駐車場や誘導員の配置等も含めた受入態勢の構築状況、旧木型場の入場料設定の考え方、タブレット端末等に対応したICT設備の整備状況、構成資産だけでなく、市内全域で整備を進めていく考え、小菅修船場跡へのアクセスを路線バスではなく、タクシーや小型マイクロバスで運行する考え、観光マナーの周知徹底のあり方についてなど、慎重に審査しました。

また、教育厚生委員会において、民間保育所において定員増を伴う増改築等の施設整備にかかる経費を助成する児童福祉施設整備事業費補助金の一部を減額する修正案が可決されたことから、該当する歳入を減額する修正案が提出されました。

委員会では、修正案及び修正部分を除く原案について討論を行い、生活保

護費における冬季算の見直しに係る歳入部分は認められないなどの反対意見が出された一方、地方版総合戦略の策定については、人口減少対策、地域活性化対策として速やかに推進を図ってほしい、世界遺産登録に伴う観光客の受入れについては、全市を挙げて万全の態勢を構築してほしいなど賛成意見が出され、採決の結果、修正案のとおり原案を修正して可決しました。

## 教育厚生委員会

長崎市立小学校条例の一部を改正する条例に附帯決議を付して修正可決

今回の改正内容は、児童数が減少していること等を勘案し、佐古小学校及び仁田小学校を統合するのに伴い、両校を廃止し、新たに設置する小学校の名称及び位置を定めたいのと、出津小学校を黒崎東小学校に統合するのに伴い、出津小学校を廃止しようとするものです。

委員会では、協議会において新設校名の選定を行なった後の周知方法や地域住民から市に寄せられた意見等への対応について慎重に審査しました。

その結果、佐古小学校及び仁田小学校の統合に伴う新設校名の撤廃を求める陳情が提出されるなど、地域住民の

理解が十分に得られていないとの理由により、6名の委員から連名で、「佐古小学校」及び「仁田小学校」の廃止と「新たに設置する小学校の名称及び位置」を定める部分を削除しようとする修正案が提出され、採決の結果、修正案のとおり原案を修正して可決しました。

なお、今後、新たに設置する小学校の名称については、平成28年4月1日からの新設統合に向けて、広く地域住民への説明を行い、理解が得られるよう、十分な検討協議を加え、その結果に基づき、早急に必要な措置を講じることを要請する旨の附帯決議を全会一致で決定しました。

## 環境経済委員会

平成27年度長崎市一般会計補正予算第2号(環境経済委員会所管部分)を可決

長崎ブリックホールの利便性の向上を図ろうとするための文化施設整備事業費が計上されていることから、県庁舎跡地へのホール機能の確保に係る県との協議がまだ整わないことを踏まえ、今後数年間の文化振興と交流人口の拡大の観点から公会堂の利用を再開する考えの有無、公会堂廃止に伴うブリックホールの使用料収入の増加見通

し、抜本的な改修を行う考えの有無について慎重に審査しました。

委員会では、ブリックホールであるゆるニーズに応えなければならぬため、市民の意見を酌んでより使いやすい施設にしてほしいとの賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲長崎ブリックホール

## 建設水道委員会

平成27年度長崎市一般会計補正予算第2号(建設水道委員会所管部分)を可決

市営住宅を修繕するための市営住宅管理費が計上されていることから、退去修繕完了前に施工業者へ工事費を支払うといった不適切な事務処理や、退去から次の入居まで6ヶ月以上家賃収入が市に入らない状態の市営住宅の管理体制のあり方についてなど慎重に審査しました。

委員会では、市と指定管理者の双方のチェック体制を強化してほしいとの賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

## 6月定例会の議決結果

平成27年第3回定例会は、6月19日から7月8日までの20日間にわたって開かれ、市長提出議案25件、議員提出議案4件について、それぞれ審議決定しました。そのほか、専決処分の報告10件などがありました。

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第103号	副市長の選任について	付託省略	同意
第104号	教育委員会の教育長の任命について	付託省略	同意
第105号	長崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	総務	原案可決
第106号	長崎市特定個人情報保護条例	総務	原案可決
第107号	長崎市教育委員会組織条例	教育厚生	原案可決
第108号	長崎市附属機関に関する条例等の一部を改正する条例	総務	原案可決
第109号	長崎市個人情報保護・情報公開審査会条例の一部を改正する条例	総務	原案可決
第110号	長崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例	総務	原案可決
第111号	長崎市税条例の一部を改正する条例	総務	原案可決
第112号	長崎市立小学校条例の一部を改正する条例	教育厚生	修正可決(※1)
第113号	長崎市立青年の家条例の一部を改正する条例	教育厚生	原案可決
第114号	長崎市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び長崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	教育厚生	原案可決
第115号	長崎市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例及び長崎市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	教育厚生	原案可決
第116号	長崎市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例	教育厚生	原案可決
第117号	長崎市市民センター条例の一部を改正する条例	総務	原案可決
第118号	長崎市永井隆記念館条例の一部を改正する条例	教育厚生	原案可決
第119号	長崎市営住宅条例の一部を改正する条例	建設水道	原案可決
第120号	地方独立行政法人長崎市立病院機構中期計画の変更の認可について	教育厚生	原案可決
第121号	あらたに生じた土地の確認並びに町及び字の区域の変更について（蚊焼町及び小ヶ倉町3丁目）	付託省略	原案可決
第122号	財産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車（1台））	総務	原案可決
第123号	財産の取得について（タブレット型パソコン（1,888台）及び周辺機器（一式））	教育厚生	原案可決
第124号	平成27年度長崎市一般会計補正予算（第2号）	所管の各常任委員会	修正可決
第125～127号	平成27年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第1号）ほか特別会計2件	所管の各常任委員会	原案可決
議第2号	長崎市議会会議規則の一部を改正する規則	付託省略	可決
議第3号	未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について	付託省略	可決
議第4号	認知症への取り組みの充実強化に関する意見書について	付託省略	可決
議第5号	被爆70周年の決議について	付託省略	可決
請願第1号	安全保障法制に関する法案の撤回を求める意見書に関する請願について	総務	不採択

(※1) 教育厚生委員会において附帯決議を可決。

全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

**●ぜひ議会の傍聴へ！●**  
 本会議や委員会、どなたでも傍聴することができます。  
 傍聴の定員は、本会議は120名、各委員会は7名となっています。  
 傍聴を希望される方は、本会議は本会議場入口、委員会は議事事務局総務課において、受付簿に氏名・住所をご記入ください。

<p>山口まさよし 野口達也 奥村修計 浅田五郎 中村俊介</p>	<p>長崎駅周辺再整備特別委員会                  ◎堤勝彦                  ○内田隆英                  山崎尚之                  馬場春文                  永尾隆彦                  内田隆英</p>	<p>◎林広文                  ○木森俊也                  板坂博之                  井上重久                  梅原和喜                  大石ふみき                  佐藤正洋                  橋本剛                  向山宗子                  吉原孝</p>	<p>世界遺産・観光客受入対策特別委員会                  ◎簡井正興                  ○相川和彦                  岩永敏博                  後藤昭彦                  幸大助                  中里泰則                  中西敦信                  中村照夫                  久八寸志                  平野照夫                  深堀義昭                  福澤照充</p>	<p>地方創生対策特別委員会                  ◎簡井正興                  ○相川和彦                  岩永敏博                  後藤昭彦                  幸大助                  中里泰則                  中西敦信                  中村照夫                  久八寸志                  平野照夫                  深堀義昭                  福澤照充</p>
---	---	---	---	---

6月定例会において、特別委員会の委員の選任が行われ、各委員会において委員の互選によりそれぞれ委員長及び副委員長を選出しました。（五十音順、◎印は委員長、○印は副委員長）

### 特別委員会の構成

## 議員提出議案

6月定例会において、議員提出議案の規則1件を可決しました。また意見書を2件、決議を1件を可決し、国会及び関係行政庁に提出しました。

▼長崎市議会会議規則の一部を改正する規則

▼未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

▼認知症への取り組みの充実強化に関する意見書

▼被爆70周年の決議

## 請願

6月定例会中に委員会審査を行った請願は、次のとおりです。

▼安全保障法制に関する法案の撤回を求める意見書に関する請願(不採択)

## 陳情

6月定例会中に委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

▼人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定についての意見書提出を求める陳情

▼仁田小学校・佐古小学校統廃合に伴う新設校名の撤廃を求める陳情

▼「長崎市子ども子育て支援事業計画」における教育・保育施設の提供体制の確保策についての陳情

## 人事

6月定例会で、次の人事案件について同意することに決定しました。

▼副市長の選任

三 藤 義 文(再任)

▼教育委員会の教育長の任命

馬 場 豊 子

## 議会の動き

### 新規採用職員の傍聴

議会運営の実情を体験し、地方自治制度への理解を深めることを目的として、6月24日に平成27年度長崎市新規採用職員の本会議傍聴研修が実施されました。



### 9月定例会の予定

9月	1日(火)	本会議(招集日)
	4日(金)	本会議(一般質問)
	7日(月)~9日(水)	
	10日(木)~11日(金)	常任委員会
	14日(月)~15日(火)	
	16日(水)	特別委員会
	18日(金)	本会議(委員長報告等)

※日程は変更となる場合があります。

## 行政視察

各常任委員会の付託案件調査事項について、次のとおり行政視察を行いました。

委員会名・調査目的	派遣委員	出張期間	調査都市・主な項目
総務委員会 行財政の効率的運営及び重要施策の推進について	武次良治、浅田五郎 林 広文、福澤照充 毎熊政直	7月13日 ~ 15日	由利本荘市：新創造ビジョンの策定など 奥州市：証明書等のコンビニ交付など
	中里泰則、五輪清隆 内田隆英、野口達也 吉原 孝	7月21日 ~ 23日	盛岡市：公共施設マネジメントなど 福島市：新市庁舎建設、防災対策 宇都宮市：自治基本条例、宇都宮ブランド戦略
教育厚生委員会 民生福祉、保健行政及び教育行政の充実について	永尾春文、相川和彦 中西敦信、西田みのぶ 向山宗子	7月13日 ~ 15日	福岡市：生活保護ホットライン 埼玉県：アスポート事業(学習支援) 鹿児島市：土曜授業
	山口まさよし、浦川基継 筒井正興、中村俊介 深堀義昭	7月22日 ~ 24日	山形市：24時間医療・健康相談サービスなど 弘前市：子育て支援施策など
環境経済委員会 環境行政の充実及び地域産業の活性化について	梅原和喜、池田章子 大石ふみき、中村照夫 山本信幸	7月27日 ~ 29日	函館市：函館市国際水産・海洋総合研究センターなど 札幌市：札幌市のMICE事業など 苫小牧市：苫小牧市新エネルギービジョンなど
	後藤昭彦、板坂博之 岩永敏博、橋本 剛 平野 剛	7月14日 ~ 16日	富岡市：世界遺産登録後の観光客の受入体制 平泉町：世界遺産登録後の観光客の受入体制 横浜市：MICE施設の活用状況及び拡充計画
建設水道委員会 都市基盤及び住環境の整備のさらなる充実について	馬場尚之、井上重久 木森俊也、佐藤正洋 堤 勝彦	7月13日 ~ 15日	八戸市：八戸西スマートインターチェンジなど 青森市：東北新幹線開通に伴う新青森駅周辺整備など 秋田市：中心市街地活性化基本計画など
	山崎 猛、奥村修計 幸 大助、久八寸志 吉原日出雄	7月15日 ~ 17日	府中市：府中市インフラマネジメント計画 金沢市：金沢駅周辺整備など